学校番号	２０２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	未来へつなぐ「家庭総合３６５」（教育図書）						
副教材等	未来へつなぐ家庭総合３６５マスターノート（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよく生きるための知識や技術の習得に興味関心を持って積極的に取り組みましょう。
- 衣食住など毎日の生活を科学的な側面からとらえ、労働や育児・介護などと地域社会の関わりが意識できるようにしましょう。
- 自分の生活を考察し身近な人々の生活を観察しながら、実習などの実践的・体験的な学習活動も通じて、毎日の生活課題を見出すための基礎的な知識や必要な技術を身につけましょう。
- 情報収集や分析・調べ学習などを行うことで、日常や社会の現状を知り今後の生活改善のめあてが立てられるようにしましょう。
- グループワークショップ、演習などの学習活動を行うことで、自分以外の人の意見を聞きながら、課題を自分ごととして結びつけましょう。
- 学習したことをもとに、生活課題の解決に向けた努力をしながら、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

(1)人の一生と家族･家庭を取り巻く生活の営みに関して、主体的に営むために必要な科学的理解を得るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につける。
(2)生活の中から課題を見いだし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察を科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通じて課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	B編　第1章　食生活と健康	① なぜごはんを食べるの？ 1　毎日の食事を考えてみよう 2　ライフステージに合った食生活 ② 私たちは何を食べているの？ 1　食品にはどんな栄養素が含まれる？ 2　栄養素を分類しよう 3　栄養素と食品を見てみよう ③ 安全に食べよう 1　食品を選んでみよう 2　食中毒と安全 ④ 健康に食べよう 1　何をどれだけ食べる？ ⑤ おいしく食べよう 1 「おいしさ」って何だ？ ⑥ これからも食事を楽しむために 1　私たちの食生活と環境 2　食文化を継承しよう 3　未来の食生活	a：食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人の関わり、ライフステージの特徴や課題、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解している。自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 b：主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察するとともに，これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c：健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
2学期	D編　ホームプロジェクト	生活上の課題を設定し，解決に向けて生活を科学的に探究したり，創造したりする	ａ：ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 ｂ：　自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。 ｃ：積極的に生活の課題を見つけ、その改善方法を考えて意欲的に発表し、実践を振り返り、さらなる学習へとつなげようとしている。	ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

2学期	A編 第3章 子どもの生活と保育	① 子どもはどう生まれ育つ？ 1 子どもの成長の特徴 ② 子どもとどうかかわろう？ 1 親の役割 2 生活習慣と子どもの生活 ③ これからの子育てとは？ 1 現代の日本の子育て事情 2 子育てを支えるしくみ 3 子どもの権利と福祉	a：乳幼児期の心身の発達と生活、子どもの遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子どもを取り巻く社会環境の変化や課題及び子どもの福祉について理解するとともに、子どもの発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 b： 子どもを生み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子どもの健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する、子どもとの適切な関わり方を工夫するなどして課題解決の力を身につけている。 c:子どもとの関わりと保育・福祉について関心を持ち、その充実向上に意欲的・主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
3学期	C編 第1章 生活における経済の計画	① 将来に向けて家計を考えよう 1 家計と社会のかかわり ②将来の経済計画を立ててみよう 1 家計と経済計画 2 家計と税金・社会保障費	a：家計の構造、生活における経済と社会との関わりについて理解するとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解し、情報の収集・整理が適切にできる。 b： 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて考察し、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する、経済の管理や計画を工夫するなどして課題解決の力を身につけている。 c： 生活における経済の計画について関心をもち、その充実向上に意欲的・主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

3 学 期	B 編 第 3 章 住 生 活 と 住 環 境	住まいの課題 と未来の暮らし ①　安全に住もう 1　安全・安心に暮らそう ②　快適に住もう 1　快適に暮らそう ③　住まいの課題と未来の暮らし 1　持続可能な住まいへ 2　これからどう暮らしていこう	ａ：住生活を取り巻く問題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解している。防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画管理に必要な技能を身に付けている。 ｂ：主体的に住生活を営むことができるよう環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造について考察し、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。 ｃ：住生活の科学と文化について関心をもち、その充実向上に意欲的・主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
3 学 期	C 編 生 涯 の 生 活 設 計 2	①自分の人生を豊かにしよう 1　生活にヒントがある 2　自分の生き方を設計しよう	ａ：人の一生について自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があること、自立した生活を営むために生涯を通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性を理解している。 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理ができる。 ｂ：生涯を見通したライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する、生活資源を活用して生活設計を工夫するなどして課題解決の力を身につけている。 ｃ：生涯の生活設計について関心をもち、意欲的・主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度